

景況レポート

(1月分・情報連絡員 80名)

大雪の影響で業界に明暗

【概況】 1月の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが11.3%(前月調査12.5%)、「悪化」が48.8%(同41.3%)で、業界全体のDI値は-37.5となり、前月調査と比較し8.7ポイント下回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-25.0で前月調査(0.0)に比べ25.0ポイント下回った。また、非製造業全体のDI値は-45.8で前月調査(-47.9)と比べ2.1ポイント上回った。

繊維製品は引き続き受注が好調であったが、全体では、除排雪の作業のため計画通りの操業が出来なかった企業も多く、売上や資金繰りが悪化した。

非製造業は、大雪で商店街や旅行の客足が減少し、運送関係に遅れが出た反面、建設関係では除排雪の請負、破損した設備等の修理・修繕で忙しくなった。

(回答数:80名 回答率:100%)

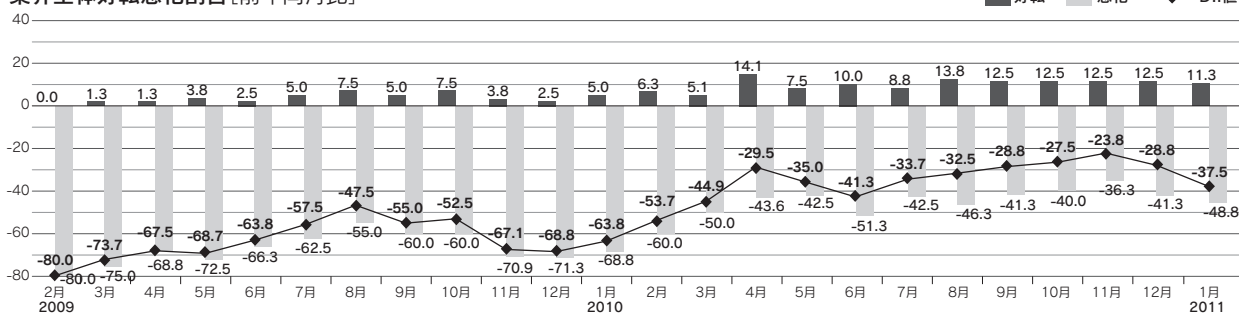
項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業						
非製造業						

【凡例】

				【天気図の見方】
快晴 30以上	晴れ 10以上 30未満	曇り △10以上 10未満	雨 △30超 △30以下	前年同月のDI値を もとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



業界の声

豆腐油揚製造	消費は依然として低迷しており、燃料費、ガソリンの値上がりに加えて、今後、原料大豆や食用油なども値上げの気配があり、見通しは悪い。
パン製造	冬のため売上が上昇している企業もあるが、大雪のため、除雪作業が操業に影響している企業もある。1月より原料価格の上昇が続いており、原価の高い商品が多くなった。
繊維製品	【秋田市他】 先月に引き続き、春夏物の生産が最盛期のため受注が好調であり、各社ともキャパシティが一杯である。 【由利本荘市】 メーカーが中国生産から国内生産に移行しており、どの工場も受注が増加している。また、中国の旧正月の影響による受注増が目立つ。メーカーによっては国内工場の規模縮小及び廃業により工場確保に時間を要し、未だ国内生産に切替ができていないところがある。
一般製材	昨年暮れから値上げ交渉に入っていたのが、新年からいくらか値戻しができるようになった。地場需要は大雪のため見込めず、首都圏を中心とした消費地に頼らねばならない。
プレカット	大雪により、住宅の着工が進まない。新築住宅の年間着工戸数も3年連続で前年を下回る見込みだが、年度の後半からは回復の兆しを感じている。
生コンクリート	4月～1月までの生コン出荷数量は、前年比88.4%。特に、1月は豪雪の除排雪優先による土木工事の遅れ及び公共工事の中断等が影響し、前年同月比66.6%と非常に厳しい数字となった。
自動車販売	1月の新車販売台数は、登録自動車1,244台(前年同月比68.4%)、軽自動車1,191台(同90.1%)で、合計2,435台(同77.5%)であり、5ヵ月連続の前年割れとなった。
石油販売	ガソリン1ℓ当たり135円で前月比3円引き上げ、軽油1ℓ当たり115円で前月比2円引き上げ、配達灯油は18ℓで1,512円と前月比74円の引き上げとなった。エジプトなどの中東情勢の緊迫で、更なる原油価格の上昇が懸念される。
商店街	【秋田市】 売上は前年同月比横這いか若干悪化となっている。家電販売はエコポイント付与以前の状況となり、テレビは殆ど売れなかった。 【湯沢市】 48豪雪(昭和48年)以上の豪雪で、連日除雪作業に追われ、売上、来街者共に激減した。民家でも多額の除排雪費用がかかっており、購買意欲が減退している。 【鹿角市】 除雪費用や灯油の値上がりが生活費を圧迫し、消費者は節約志向に向かっている。
一般建築	建築は福祉関係での補助事業(スプリンクラー等)とエコ関係(断熱等)で忙しい。土木は本業工事が雪のため難儀しているが、除排雪で忙しくなっている。
電気工事	豪雪の影響で、雪害等(家屋側断線等)に関連する仕事が増えた。